

# SDGS評価 融資契約

## 恵庭・よねざわ工業と北洋銀行

【恵庭】市内のコンクリートブロック製造のよねざわ工業（戸磯）と北洋銀行は、融資商品「ポジティブインパクトファイナンス（PIF）」の契約を結んだ。国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の達成を目指す企業が対象で、千歳・恵庭では初めて。PIFは、環境や社会

に好影響を与える活動を行う企業への融資。同社はセメント製造時に出る二酸化炭素の削減に努めているほか、2022年の大雪で建材工場1棟が半壊し、数億円単位の損害が出た経験から、緊急時の行動・経営方針をまとめた事業継続計画をこまめに更新している。同行は環境への配慮

や、経営の持続可能性を高めるこれらの取り組みを評価し、10月に契約を締結。事前に決めた限度額内で資金をいつでも借りられる「コミットメントライン」（融資枠）として1億円を設定した。

同社の米沢悟社長は「災害はいつ起きるか分からない時代に経営を続けるための備えとして、千歳・恵庭の他企業の参考となれば」と話している。（伊藤凱）



PIF契約を結んだよねざわ工業の米沢悟社長（左）と、北洋銀行白石中央の岡本亮支店長